

第1回別府市温泉マネジメント計画策定検討委員会 議事要旨

日時：令和5年7月31日（月）11:00～12:25

場所：別府市上下水道局3階大会議室

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 委員長選出

・委員互選の結果、齊藤委員が委員長に選出された。

5. 委員長あいさつ
6. 議事

- (1) 委員会設置趣旨、計画の概要、スケジュール
- (2) 別府温泉を取り巻く現状整理
- (3) 温泉マネジメント計画に向けた課題・論点の整理

<事務局説明>

・委員会の目的、別府温泉の現状、計画に向けた課題・論点について説明

<主な意見>

- ・掘削深度が深くなったり、下流での温度の低下が見られたりする中で、地下資源の保護が優先であると思う。
- ・地下を守るためには、ルールを守り、余剰量を出さないことが大切であると考える。
- ・余剰量の活用にあたっては、別府の特色（別府八湯、泉質）の良さがなくならないように考えないといけない。
- ・温泉経営者から温泉が枯渇することに不安を感じるという声がある中で、何処にどれだけ余剰量はあるかというポテンシャルを知ることによって安心すると考えられる。
- ・地域によって状況は異なるため、エリアごとに議論する必要があるのではないかと。
- ・泉源は急に止まったり、急に出てきたりと管理が難しく、泉源を守ることが大切である。
- ・メーターで管理することは難しいため、状況把握のためには、定期的なモニタリングを実施することが必要であると考える。
- ・動力泉には50リットル/分の制限があるが、自噴の場合は制限がなく、泉源全てに同じ制限がかかっているわけではないことを念頭において協議を進めていく必要がある。
- ・川へ流れされているお湯を貯めて再利用することはできないのか。
- ・温泉に関する実態調査は古いものが多く、継続して調査を実施していくことが必要である。
- ・委員の中で、課題に対する共通認識を持つことが必要ではないかと。
- ・地下の資源保護と余剰量の利活用を両輪として考えていく必要があるのではないかと。
- ・家計の収支と同様で、利用できる量がどれだけあるのかを把握する必要があると考える。
- ・高齢化で共同温泉の維持管理が難しくなっている。
- ・温泉は私権に関わることもあり、条例で規制をかけることは難しいと思うが、市民、事業者へ向けた温泉保護の意識付けを行っていくことが大切ではないかと。
- ・一定のエリアに絞って調査し、議論を深めていく必要があるのではないかと。

7. 閉会

以上